

4. ナカちゃんの思い出

● 那賀川モニター調査員 川内 政義

ナカちゃんが現れた当初は、野生のアザラシが那賀川に迷い込んできたという程度の印象でしたが、ある出来事をきっかけに夫婦で毎日のようにナカちゃんを探し、その姿をビデオカメラで撮影するようになりました。それは4月に大雨が降り、那賀川が濁流にのまれた日のことです。ナカちゃんの安否が気になり、双眼鏡を持ってナカちゃんを探しに出かけました。双眼鏡を覗きながら、那賀川河口の造船所あたりで中島に避難するナカちゃんを見つけた時、那賀川で懸命に生きようとするナカちゃんの姿にとっても感動しました。

その日以来、ナカちゃんに魅せられ、ナカちゃんへの愛着が日増しに強くなっていきました。特に印象深いのは6月3日に那賀川鉄橋の上からビデオ撮影をしていた時のことです。私たちの「ナカちゃん、どこ行っとなん」という呼びかけに訴えるような目で見つとこちらを見つめて目を離さなかったナカちゃん表情は今でも忘れることができません。その何かを言いたそうな目が気になり、ナカちゃんをよく観察したところ足のケガを見つけました。

毎日続けていたビデオ撮影を仕事の都合で休んだ矢先、ナカちゃんの訃報を知りました。ナカちゃんの最後の姿を見ることができなかったことが心残りです。私たちはナカちゃんを見るのが一番の楽しみになっていたことから、日が経つにつれて寂しさが募っています。当時のビデオを見ていると、今でもナカちゃんが死んでしまったことが信じられません。ナカちゃんが人間に生まれ変わって私たちの前に現れ、話ができればどれだけうれしいだろうなどと思います。ナカちゃんのおかげで那賀川が全国に知れ、町が活気づきました。また、県内外の方々とナカちゃんを通じた新しい交流が生まれました。ナカちゃんには本当に感謝しています。

● ナカちゃん連絡員 三原 昭子・豊浦 恵子

ナカちゃんを見に来るたくさんの人と知り合いになれば、那賀川をあらためて見つめ直すいいきっかけにもなり、よい勉強になりました。ナカちゃんの話は、本当の孫のように好きで好きでたまりませんでした。ナカちゃんがいなくなった今でも友達と会うたびにいろんな思い出を語り合っています。



5. ナカちゃんへのメッセージ

平成18年11月3日、那賀川河川敷で開催されたナカちゃんメモリアルイベントにおいて、ナカちゃんメッセージボードを設置しました。



■ナカちゃんメッセージボードへの記入風景

★ナカちゃんへ
生まれ変わって又、那賀川に!!
帰って来てネ!!

★ナカちゃん
元気をくれてありがとう

★ナカちゃん可愛かったね～



★ナカちゃん
いままでありがとう

★ナカちゃん
大好きだよ

■ナカちゃんメッセージボード